

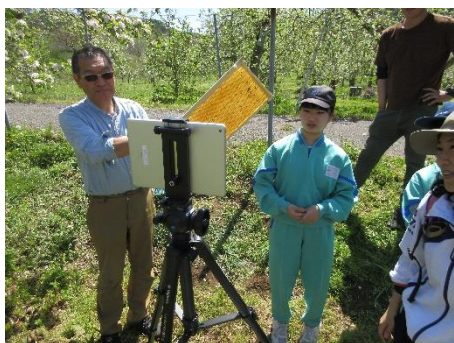
中学部だより

茨城県立大子特別支援学校

中学部 臨時号

生活単元学習では、「りんごもりだくさん」と題して、年間を通じてりんごの木の栽培等に携わっていきます。りんごの木の栽培を通じて、植物の成長に関心を寄せたり、対象物を観察して絵を描いたり、働く人と関わったりしながら、植物を大切に作る心情を育てていきます。

4月19日(水)は、2班に分かれて校内受粉作業と校外での花粉採取を行いました。大子町下野宮にある「三村観光りんご園」にご協力を頂きました。



りんごは、そのりんごでの花粉ではうまく結実することができません。そこで、他品種の花粉が必要となります。今年採取した花粉は次年度の校内受粉作業時に使用します。りんご園では、蜜蜂による受粉作業を行っています。蜂の様子を見に来た養蜂家の松浦さんにお会いして、蜂蜜をご厚意で譲っていただきました。受粉作業に蜂が関わっていることがわかったと生徒たちから「蜂さんありがとう」という声が聞かれていました。

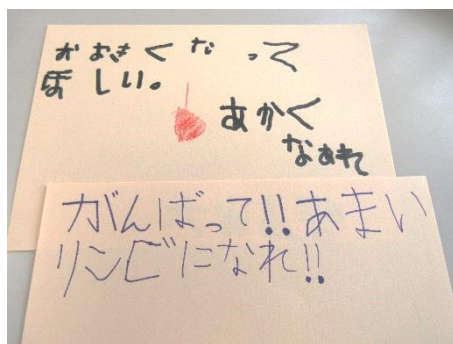


三村観光りんご園とオンラインでつなぎ、受粉の仕方や、りんごについての質問などをしました。
午後は、採取してきた花の蕾から、花粉を採取する作業を行いました。細かな作業にも集中して取り組むと同時に花の作りをよく観察する機会になりました。松浦さんから頂いた蜂蜜がサプライズで登場すると、子どもたち不思議そうに見つめ、甘いおすそ分けを味わい楽しみました。



9月21日（金）道徳の時間に、りんごが徐々に大きくなる様子を動画で見ました。校内のりんごも大きくなるようにと、応援メッセージを作成しました。美術の時間では、「りんごの花を描くパート2」を行いました。りんごの花に多く触れてきたこともあり、花の細部までよく観察し、表現しようと真剣に取り組みました。

午後は「三村観光りんご園を堪能しよう」ということで、360度カメラで撮影した映像をみんなで鑑賞しました。映像から流れる蜂の羽音や、広いりんご園の様子に「すごーい！」と歓声があがりました。三村さんも来校してくださり、顔合わせをすることができました。



りんごの木をとおして、さまざまな体験ができ、新しい発見や気付ができた1週間でした。